

『えどがわABA基礎講座 ①』

支援プランや教材作成に！
スモールステップ構築ワーク

江戸川区発達相談・支援センター主催

センターの概要

児童療育事業

未就学のお子様を対象に、密度の高い個別指導と
保護者支援、ニーズに合わせた集団指導を行っています

利用に関するお問い合わせ ☎03-5875-5321

ぺあすく

親子共学型療育支援プログラム

- 1回 80分 1年間
(前期6カ月週1回、後期6カ月隔週1回)
- セラピストによるお子様への直接支援
- 家庭でも療育を実践するためのペアレントトレーニング



パソコンやスマートフォンなどの
ICTを活用し、支援効果の
見える化を図っています。



1年間のぺあすく終了後は
就学まで右記のフォローアップ
支援をご利用できます

予約制コンサルテーション

- 最大月1回のコンサルテーションを提供

ピアグループ型個別指導

- 2、3名の個別指導 1回 80分
- 1対1で対応することもあります

集団指導

ぺあすくと並行して（もしくは終了後）
集団指導を受けることができます

毎日通園クラス

- 9:30 - 12:30 原則週5日間のクラス
- 集団活動や給食など
- 生活リズムの安定や身辺自立の
習得を支援



短時間通園クラス

- 3～6名、1回 60分 平日の午前・午後
- 集団適応やコミュニケーションを支援



スクールトライアル

- 3～6名、1回 60分 平日夕方
- 就学に必要なスキルの習得を支援



発達障害相談事業

発達についての悩みや、
発達障害に関する相談に応じます

18歳未満の方の発達に関する相談

☎03-5875-5101 (発達相談室「なないろ」)

18歳以上の方の発達に関する相談

☎03-5875-5401 (発達障害相談センター)



計画相談支援事業

障害児支援サービスを受けるために
必要な支援計画を作成

保育所等訪問支援事業

訪問支援員が保育所等を訪問し、
集団生活の適応のための支援を実施

児童療育事業の料金

- 1回の料金（負担額）は所得に
応じて0円～1200円程度です。
 - 区が定める利用者負担上限月額の
範囲でご利用いただけます。
 - 3歳以上は無償化の対象です。
- ※計画相談支援事業は無料です。

支援者支援・啓発

支援者や保護者向けの講座、
市民への啓発を行います。

乳幼児施設等巡回
支援事業

出前講座

親支援講座

発達障害
啓発イベント

公開シンポジウム

事例検討会

アイスブレイク

①呼んで欲しい名前

②「私、こう見えて、〇〇なんです！」



えどがわABA基礎講座とは？

- 事業者同士で交流しながら、困った行動の分析や、適切な行動の習得支援の基礎を学べる全3回のオンライン開催の連続講座
- 応用行動分析(ABA)に基づく「実践」ノウハウを学ぶ
- 豊富な事例や映像、ロールプレイやワークを中心に学ぶ
- 3講座全て受講された場合、センターより基本講座受講修了証を発行
- 修了者かつ同意を頂けた方は、当センターHPにてお名前やご所属を公開させていただきます

地域の支援者間で
共通言語をもつ

初級ABAセラピスト認定研修

E-learning
講習

ロープレ
講習

OJT型実習
(20単位)

認定試験

実技試験

筆記試験

仮認定

1年間の
Follow-up

本認定

スキルアッ
プ研修会

- 仮認定テストに合格後、計12回（約1年間）は事例検討やフォローアップ研修を義務付け

- 仮認定1年を経て本認定後は更新制

- HPにて認定者リストを公開



本日の達成目標は3つ

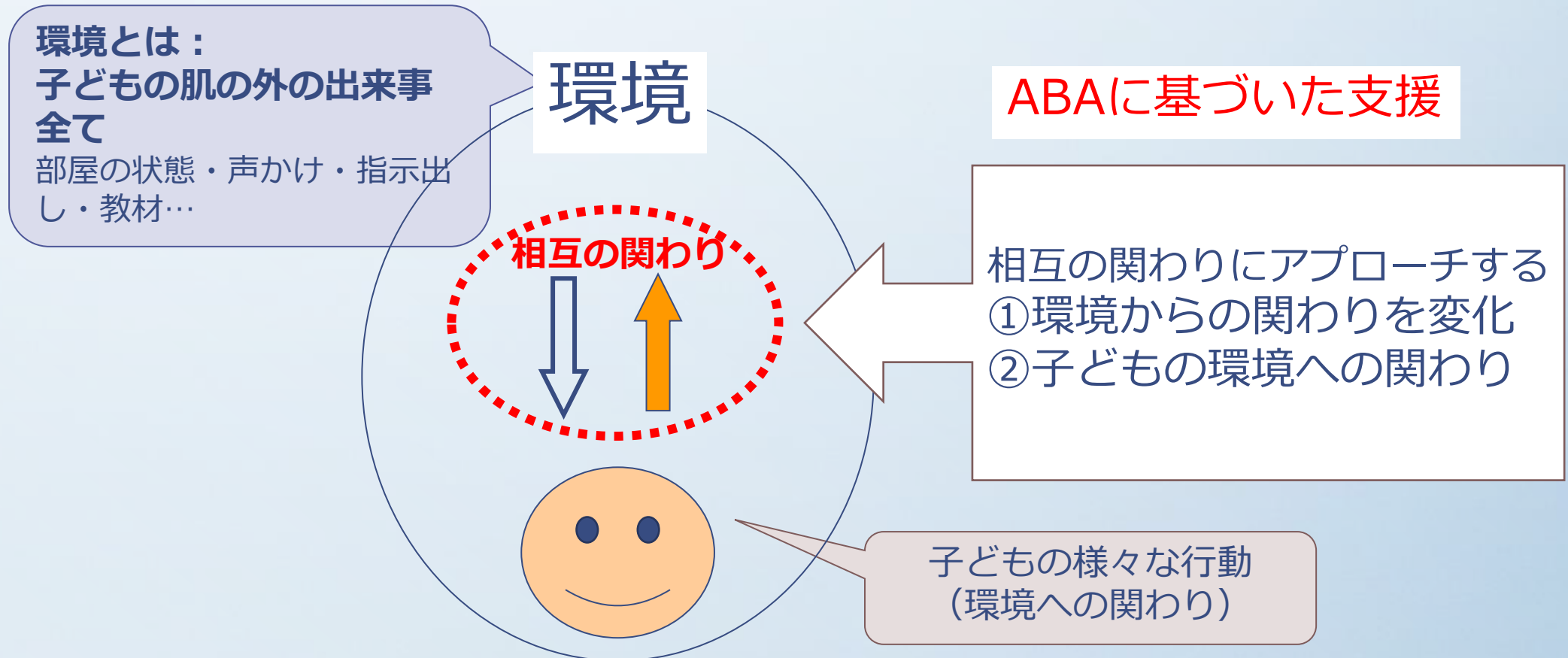
- ①ABAの考え方「3つの箱」を説明できる
- ②エラーレス学習のメリットを説明できる
- ③スモールステップを組み立てられる

1.ABAの基本 「3つの箱」を理解する



応用行動分析学（ABA）とは

- 行動の法則性を明らかにする基礎学問「行動分析学」から派生した心理学
- Applied Behavior Analysis(ABA)
- 行動の原因を「個人の心の中」でなく、「個人と環境の関わり」に求める。



科学的根拠（エビデンス）に基づいた 発達支援を実践する

ABAは
必修科目

(1) 保護者の療育への適切な関わりを支援すること

(Roberts et al., 2011; Lovaas, 1987; Osborne et al., 2008)

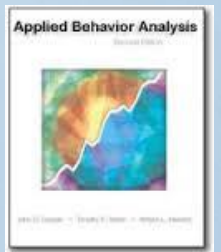
(2) 応用行動分析に基づく集中性をもった個別かつ早期の介入

(Lovaas, 1987; Sallows & Graupner, 2005; Smith et al., 2000; Eldevik et al., 2006; Peters-Scheffer et al., 2010)

(3) 社会性や発達の観点重視した療育プログラム (Koegel & Koegel, 2006; Dawson et al., 2010)

アメリカでは約40州で自閉症児
の療育として保険適応

Pearson(2007)
800 pages





Contents lists available at ScienceDirect

Research in Autism Spectrum Disorders

journal homepage: www.elsevier.com/locate/rasd



ABAは
必修科目

One-year outcomes of low-intensity behavioral interventions among Japanese preschoolers with autism spectrum disorders: Community-based study(2020)

Hideyuki Haraguchia, Honami Yamaguchib, Atsuko Miyakec, Yoshiyuki Tachibanad, Andrew Stickleya,e, Mari Horiguchif, Masahiko Inoueg, Fumiyuki Noroh, Yoko Kamio

- 低密度ABA(平均週5.5時間)と非行動的折衷的介入の比較
- 低密度ABA群の方が言語と社会的発達の伸びが大きい
- **個別**の療育時間は言語とコミュニケーションスキルの伸びと関連する
- たとえ**低密度でもABAの実装が有用**である可能性が示唆

子どもの「こころ」のとらえ方

こじん攻撃の
ワナ

いじわるしてる？

おこりっぽい性
格？

さびしいのかな？



笑うから嬉しいのか、嬉しいから笑うのか？

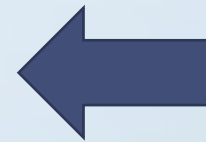
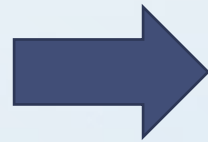
ABAの基本 3つの箱

行動の前後を分析しところを「みえる化」する

行動の前の出来事
(先行事象)

行動

行動後の出来事
(後続事象)



ママかまってよ！

ここを「3つの箱」でかんがえる

3項随伴性

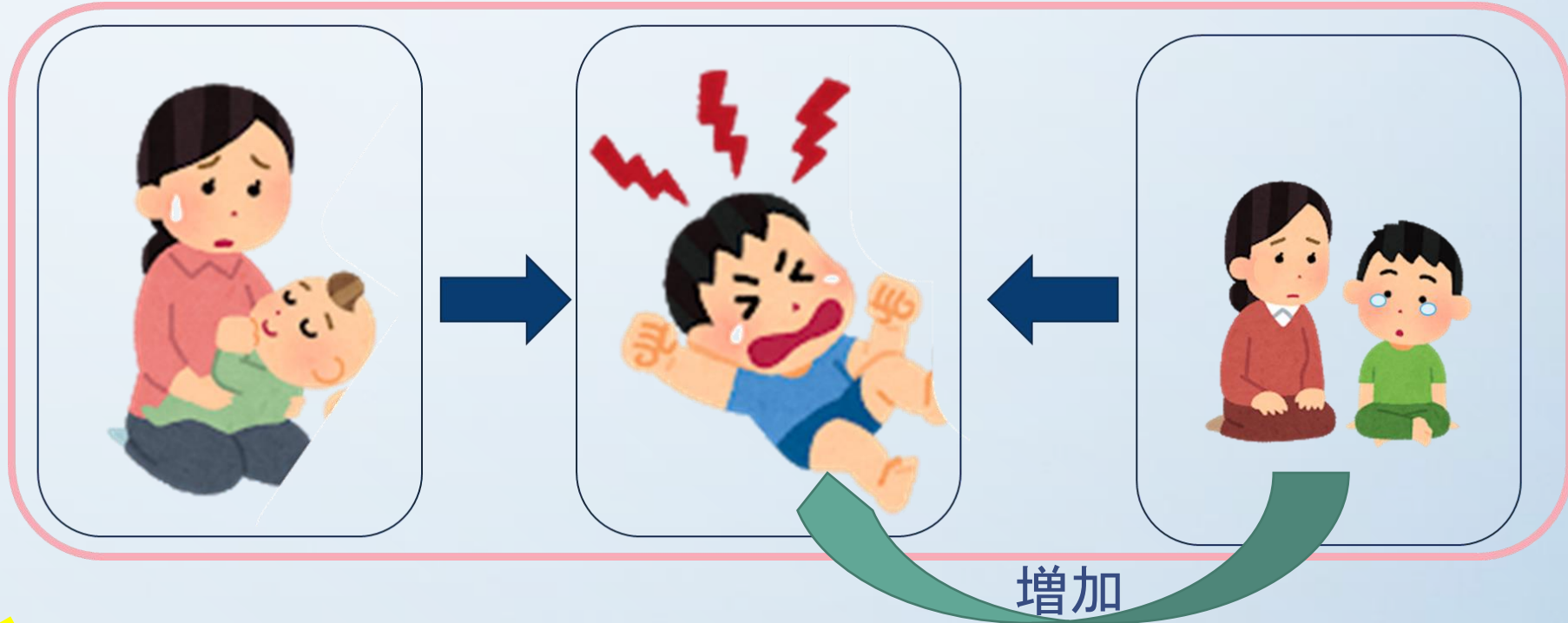


ママかまってよ！

行動のきっかけ

行動

行動後のできごと



注意

行動の「形態」にとらわれてはいけない⇔「機能（働き）」が重要

3つの箱で行動を理解する「ほめるは科学」



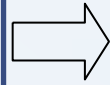
行動の法則性を明らかにする心理学の一分野 「応用行動分析学」

行動の前に、行動を起こすきっかけがあり、
行動を起こした結果、
良いことが起きると、直前の行動が増加する

叱責や一貫性の無い対応は困った行動を増やす

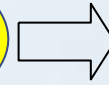
行動の前の出来事

授業が分からない
手持ち無沙汰
ざわざわした教室



行動

立ち歩く
ちょっかいを出す



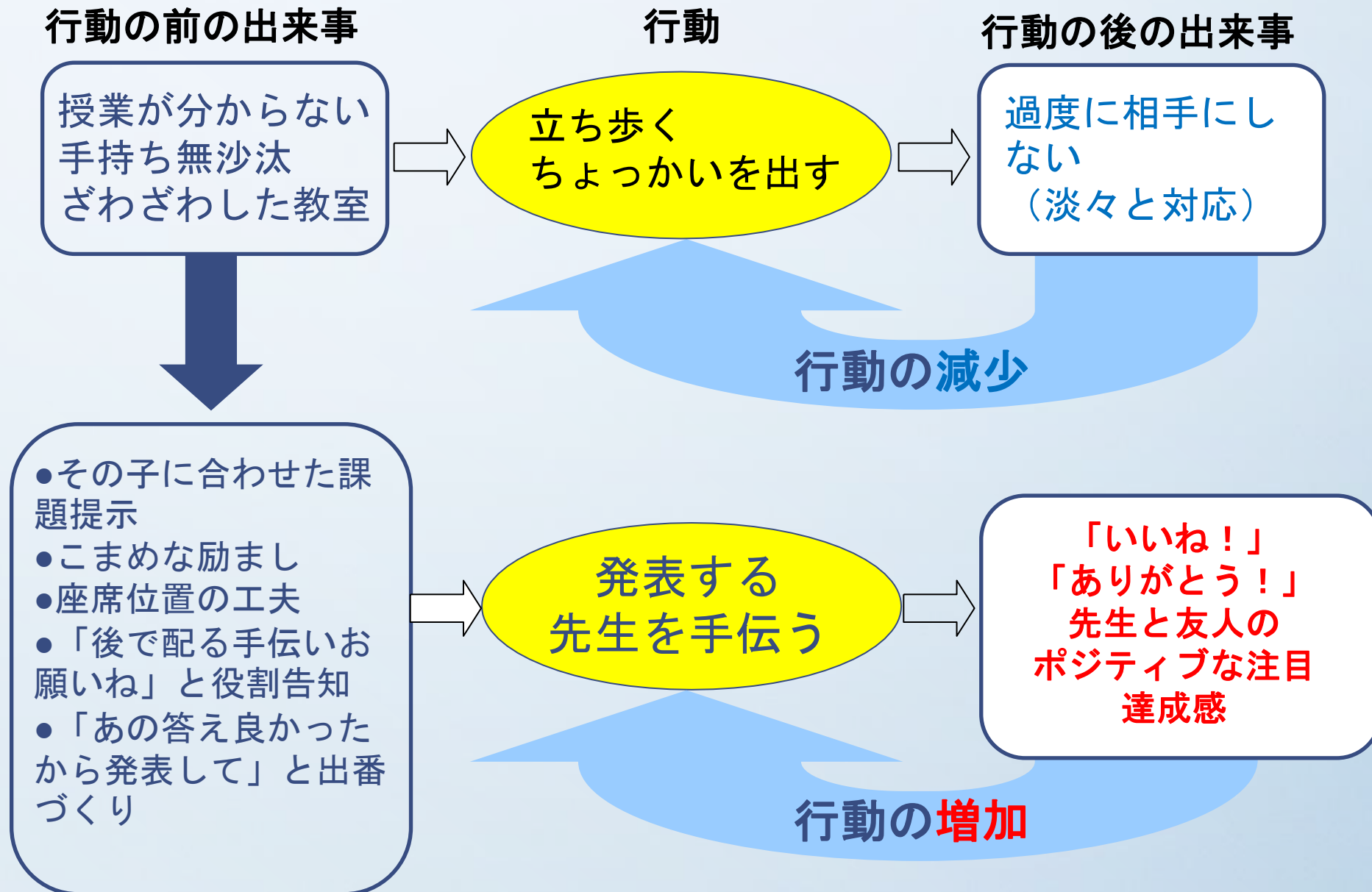
行動の後の出来事

友達が反応する
先生が注意する

行動の増加



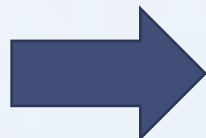
望ましい行動を引き出すチャンスに！



お子さんの行動

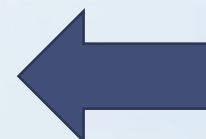
行動の前の出来事
(先行事象)

- ・ 他者からの関わりや指示



行動

- ・ 指示をきく



強化

行動後の出来事
(後続事象)

- ・ 褒められる
- ・ いいことがある



早期によい相互関係を積み上げること＝社会への安心・信頼感

大人の行動

- ・ お子さんがいる



- ・ 関わりや指示をする



強化

- ・ 関わりや指示に対応してくれる



他者とのよい相互関係を確実に積み上げる＝指示を聞ける状態へのスモールステップ

行動の前の出来事 (先行事象)

- ・すでにできていること
- ・得意なこと
- ・お子さんが「したいこと」
- ・少し頑張ればできることを
分かりやすく指示する



行動

- ・自然と指示されたことに
取り組む



行動後の出来事 (後続事象)

- ・他者から認められ
る・褒められる
- ・達成感を感じる



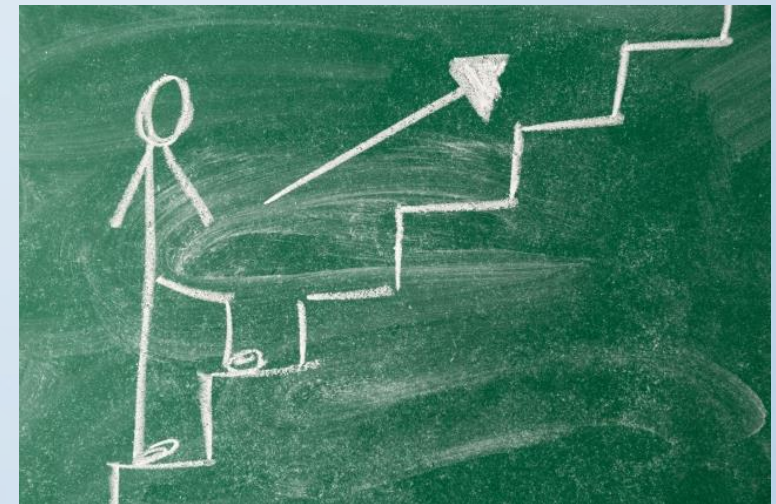
強化

2. エラーレス & スモールス ステップの重要性



エラーレスラーニング（無誤学習）

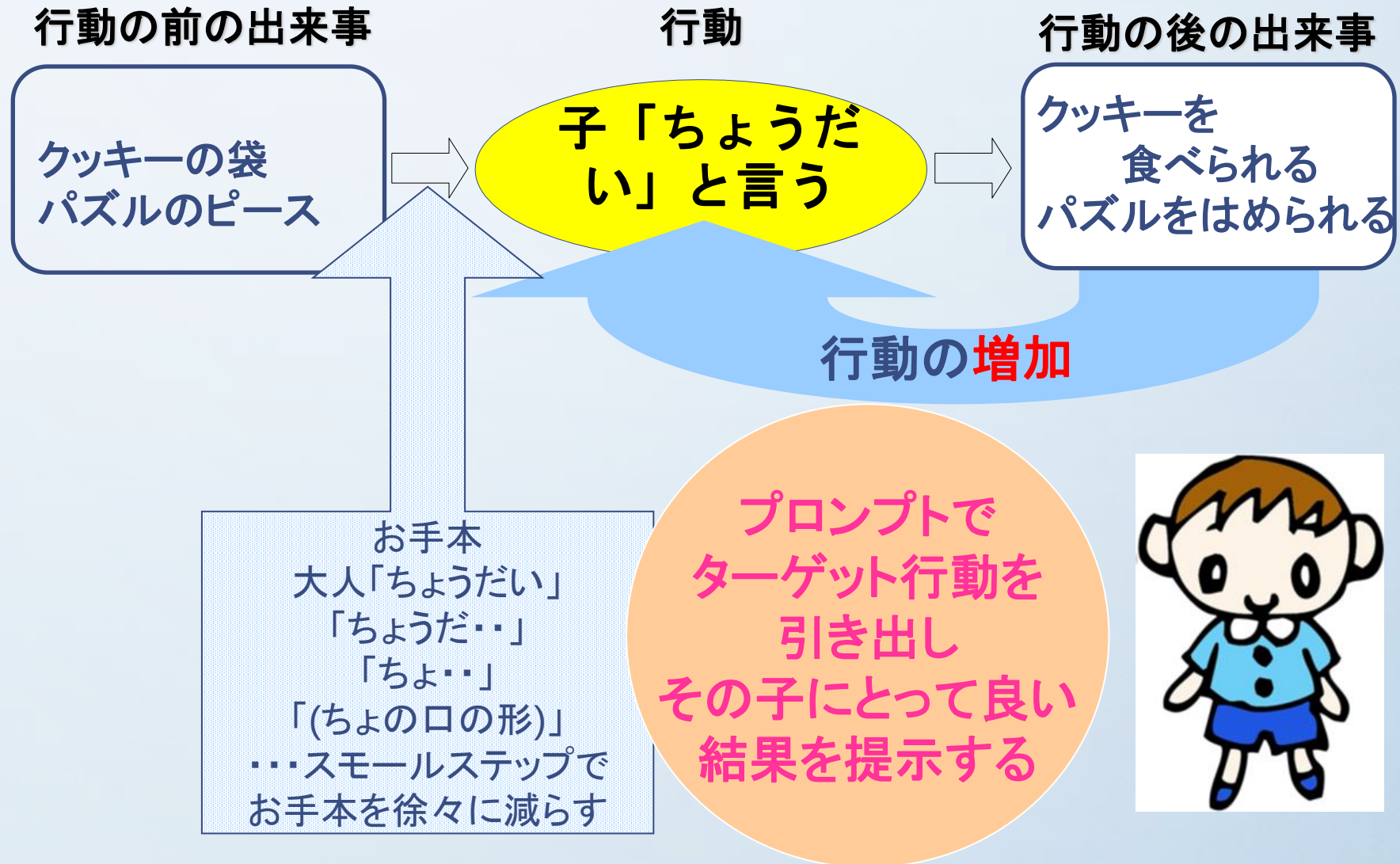
- 発達障害のあるお子さんの療育や、記憶障害の患者さんなどへのリハビリテーション分野など、幅広く活用。
 - 「学び手は常に正しい」= 応用行動分析学という心理学の基本的なスタンス
 - 「子どもの成功体験をデザインする」
 - 新しいことや苦手なことにチャレンジする場合もこまめに成功体験を積んで、達成感を感じることができる
- ✓一人で出来たかのようなさりげない手助けを行う
- ✓できた場合にはしっかりと褒めてあげることです。



エラーレスラーニング

- <https://youtu.be/fvucnhcXYtk>
([フロリダ工科大学の自閉症支援センターHP](#)より)

スモールステップ&エラーレスな発達支援





子どもの特性に合わせた課題の設定

教えても教えてもできない・・・

指導のテクニック < 標的行動の選定

多少教え方が洗練されていなくても、標的行動がお子さんの発達段階にそった最適なものであることが重要



標的行動を選定する時の注意点

- ①QOLの向上に貢献できる可能性があるか
- ②行動のパーツはそろっているか
- ③本人の得意/好きなことと関連があるか

✖ 未習得の行動が
複数入っている

✖ 最初から目標が
高すぎる



行動のパーツはそろっているか

選択の指さしを
教えたい！

- ✓ そもそも要求したい物は明確か？
物や活動への動機づけを育てる・探す
- ✓ 指さしの形はつくれるか？
指をさすという運動反応の確認
- ✓ 選択反応自体はあるか？
欲しいものに手を伸ばしたり奪い取ったりする行動はある？

3. スモールステップの事例 を知ろう



行動問題の置き換えスモールステップ

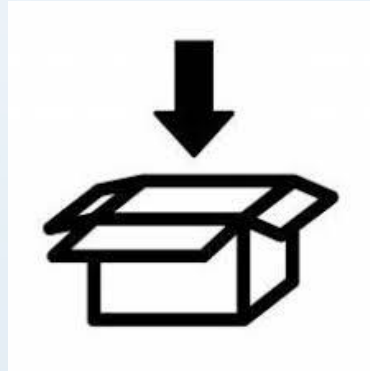


- 多動性・衝動性が高いお子さん。言語面の知的機能が高い。
- **事前の**言語ルール提示とロールプレイを実践
- スモールステップで **困った行動の置き換え支援** を実施

もくひょう: なげたくなったら【
かっこいいポイント→●●○○○



壁に投げる



箱に投げい
れる



固くないもの
を
投げる



投げずに
そっと
置く

集団参加のスムーズステップ

集団参加は、スムーズステップで無理なく、楽しく促す
(集団=嫌悪的にならないように)



成人期を見据えた支援

自己統制（セルフコントロール）も、早期から少しずつ教える
待てば、良いことが起きる経験を積み重ねていく



カウント
ダウンで待つ



タイマー
で待つ

けんたくんのスターポイント



ポイントが
たまるまで
待つ



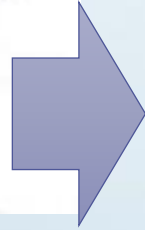
スケジュール
を
理解して動く

子どもに合わせたアプローチの例②

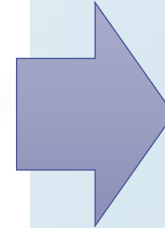
- 毎日通園でお昼ご飯を食べる
→ご家庭では食べられている白いご飯と、大好きなソースを活用



ソースのみ



ソース＋米
粒



ソースご飯

米粒を徐々
に
増やす

指導例：遊びのスムーズステップ化

- ①止まっている大人からしっぽをとったら強化
- ②動いている大人からしっぽをとったら強化
- ③しっぽを付けている大人を探して取れたら強化
- ④子ども同士でしっぽをつけ、相手のしっぽを取れたら強化

楽しい活動＋お友達のペアリング



スモールステップ分析ワーク

出来ていることを探す＝ 期待する姿を細分化する(スモールステップ)

・
-鬼ごっこに参加する

-じゃんけんに参加する
-全体的に逃げ回る
-鬼に追われたらよける
-タッチされたら鬼になる
-友達を追いかける
-友達にタッチする



Small Step



お子さんに、教えたいことがありますか？

例えば・・・

そろそろ靴下を自分で
履けるようになっていないかな？



一口に「靴下をはく」と言っても・・・



①靴下を持つ



②入口を開く



③つま先を入れる



⑤引っ張り上げる



④かかとを入れる



- https://www.dropbox.com/s/v4cvmi660t6ic10/kadai008_mino_mawari_FINAL_ver.2.mp4?dl=0 くつした
- https://www.dropbox.com/s/epa4evfkzliyzbl/kadai003_countdown_FINAL_ver.1.mp4?dl=0 カウントダウン

例題

気候が暑くなってくると、4歳の息子はいつもサンダルを履きたがります。運動靴は一人では履けません。サンダルは自分で履けるので、サンダルでもいいかと思っていましたが、学校にはサンダルで行かれないので、一人で運動靴も履けるようになってほしいです。

現状は、運動靴を履くことは拒みませんが、自分で履く気は起きないようで、靴を私に渡してくるか、靴を置いたまま「やって！」と言って待っています。最後に運動靴のマジックテープだけは触りますが、促されて触る程度です。一人で履けるようになるには、どうやって教えれば良いのでしょうか？



上手な教え方ワークシート

日付：（ / / ）

記録者：（ ）

今困った行動がある場合のみ記入↓

●目標の行動

（新しくできるようになるといいこと or 困った行動がある場合は、それに替わる適切な行動）

つま先、かかとを入れて、
マジックテープを貼る

行動は具体的に記入しましょう！



スモールステップ



<step3>

<step2>



<step1>今ある、目標の行動に一番近い行動

環境や道具の工夫

手助けの仕方

行動は具体的に！

× 良くない例：

「～しない」

◎ 良い例：

「(～しないで)～する」

上手な教え方ワークシート

日付：（ / / ）

記録者：（ ）

今困った行動がある場合のみ記入↓

●目標の行動

（新しくできるようになるといいこと or 困った行動がある場合は、それに替わる適切な行動）

つま先、かかとを入れて、
マジックテープを貼る

行動は具体的に記入しましょう！



スモールステップ



<step3>

かかとを入れて、マジック
テープを貼る

<step2>

マジックテープを自分で
貼る



<step1>今ある、目標の行動に一番近い行動

マジックテープを触る

環境や道具の工夫

手助けの仕方

目標を細分化

達成規準を明確に！
例：
それぞれプロンプトなしでも3回以上できたら、次のステップへ

上手な教え方ワークシート

日付：（ / / ）

記録者：（ ）

今困った行動がある場合のみ記入↓

●目標の行動

（新しくできるようになるといいこと or 困った行動がある場合は、それに替わる適切な行動）

つま先、かかとを入れて、
マジックテープを貼る

行動は具体的に記入しましょう！



スモールステップ



<step3>

かかとを入れて、マジックテープを貼る

<step2>

マジックテープを自分で貼る



<step1>今ある、目標の行動に一番近い行動

マジックテープを触る

環境や道具の工夫

- ・サンダルは置かない
- ・大きめの靴で練習
- ・好きなキャラクターの靴
- ・はけたら公園へ行く

手助けの仕方

- ・気になるものは片付ける
- ・目で見て分かりやすい工夫
- ・見通しを立てる など

上手な教え方ワークシート

日付：（ / / ）

記録者：（ ）

今困った行動がある場合のみ記入↓

●目標の行動

（新しくできるようになるといいこと or 困った行動がある場合は、それに替わる適切な行動）

つま先、かかとを入れて、
マジックテープを貼る

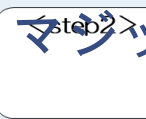
行動は具体的に記入しましょう！



スモールステップ



<step3>
かかとを入れて、マジックテープを貼る



<step2>
マジックテープを自分で貼る



<step1>今ある、目標の行動に一番近い行動

マジックテープを触る

環境や道具の工夫

- ・サンダルは置かない
- ・大きめの靴で練習
- ・好きなキャラクターの靴
- ・はけたら公園へ行く

手助けの仕方

- ・手添えて一緒にやる
- ・「ぎゅー」「ぺったん」などの声掛け

- ・黒子のようにさりげなく
- ・子どもが「自分でできた」と感じられるように（プロンプトの種類）
- 身体プロンプト
- 指差しプロンプト
- 音声プロンプト など

上手な教え方ワークシート

日付：（ / / ）

記録者：（ ）

今困った行動がある場合のみ記入↓

●目標の行動

（新しくできるようになるといいこと or 困った行動がある場合は、それに替わる適切な行動）

つま先、かかとを入れて、
マジックテープを貼る

行動は具体的に記入しましょう！



スモールステップ



<step3>
かかとを入れて、マ
ジックテープを貼る

<step2>

マジックテープを自
分で貼る

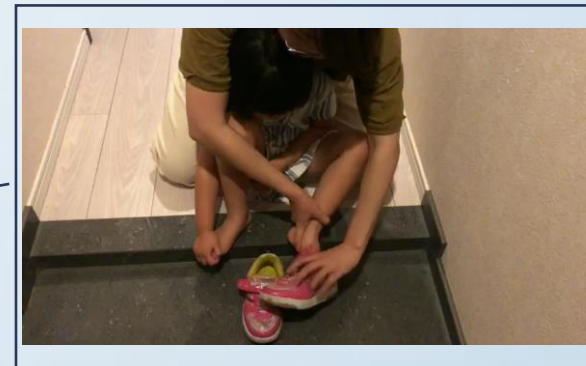
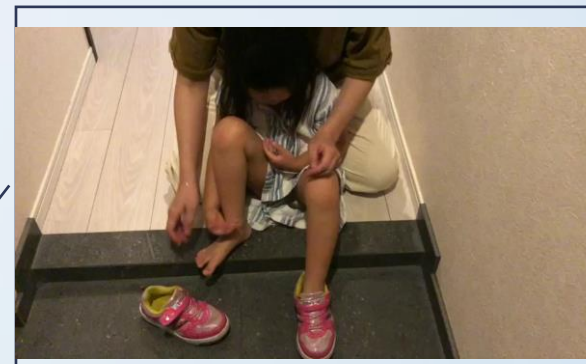


<step1>今ある、目標の行動に一番近い行動
マジックテープを触
る

- ・サンダルは置かない
- ・大きめの靴で練習
- ・好きなキャラクターの靴
- ・はけたら公園へ行く

手助けの仕方

- ・手を添えて一緒にやる
- ・「ぎゅー」「ぺったん」などの声掛け



現在出来ている行動と標的行動の間を埋めるには

例：少しずつ言葉は出てきたんだけど、やりとりにつながらないんです・・・
要求の時は手で物を取ろうとします

出来ている事：音声模倣であれば1語でちょうだいという
ことは出来る

STEP1 : 音声だけで「ちょうだい」というお手本を真似する

STEP1 : 好きなものを前に、「ちょうだい」というお手本を真似する

STEP2 : 「ちょうだ・・・」というお手本を真似する

STEP3 : 「ちょ・・・」というお手本を真似する

STEP4 : (ちょ・・・)という口の形だけ見て頂戴という

STEP5 : お手本無しで頂戴という

ターゲット行動：何かがほしいときに、頂戴と要求する

強化子（ご褒美）：パズル
が好きなので活用。クッ
キーなどおやつ時間も実
施する。

その他の工夫：手が届かな
いけど見える場所に、強化
子を見せるよう気を付ける。

現在出来ている行動と標的行動の間を埋めるには

例：とにかく待てないんです・・・好きなものを目にしたらすぐに手にしないと我慢ができなくて怒ります

出来ている事：まあまあ好きなおもちゃであれば一瞬待てる

STEP1 : まあまあ好きな物を見せながら、「待ってね」と言って、すぐ渡す

STEP1 : まあまあ好きな物を見せながら、待ってね3, 2, 1, 0と早口でカウントダウン

STEP2 : まあまあ好きな物を見せながら、待ってね、と5秒カウントダウン

STEP3 : まあまあ好きな物を見せながら、待ってね、と10秒カウントダウン

STEP4 : とても好きな物を見せながら、待ってね、と3秒カウントダウン

STEP5 : とても好きな物を見せながら、待ってね、と10秒カウントダウン

ターゲット行動：何かがほしいときに、頂戴と要求する

強化子（ご褒美）：基本はおもちゃだが、とても好きな物の時は＋アルファでお菓子などもセットで渡す。

その他の工夫：とても好きなものは、起こりそうになったら早口で数えてすぐに渡す。（エラーレス）

Copyright 2014 ADDS. All rights reserved. (エラーレス)

現在出来ている行動と標的行動の間を埋めるには

例：おやつやごはんの前にお片づけと言われても、無視して食べ始めてしまう

出来ている事： 指させば、1つのおもちゃを箱に入れることはできる



ターゲット行動：お片づけと言われたら使っていたおもちゃを全部箱に入れる

強化子（ご褒美）：

その他の工夫：

現在出来ている行動と標的行動の間を埋めるには

例：そろそろ一人でフォークで食べられるようになってほしいんです。いまは受け身でひたすら待っています

出来ている事：食べ物をさしたフォークを手に渡してあげれば、口に運ぶことができる



ターゲット行動：自分で食べ物をフォークでさして口に運ぶ

強化子（ご褒美）：

その他の工夫：

補足：色々あるスモールステップの区切り方



- 難易度 （易→難）
- 量 （少ない→多い）
- 最初から順に教える （最初少しだけやらせる→最後までやらせる）
- ゴールから徐々に遡る （最後の手順だけやらせる→始めから全部やらせる）
★子どもが達成感を得やすい
- 時間 （短い→長い）
- 場所 （いつもの場所→はじめての場所）
- 距離 （短い→長い）
- 人 （大人→子ども／少人数→大人数／両親→先生）
- 手助けの量 （手助け多め→手助けなし）
- 手助けの種類 （身体ガイド→お手本を示す→指さす→言葉or視覚的な補助）

スモールステップ教材の作成ポイント

- 好き/得意なこと
- できること(持っている行動レパートリー)
- 常同性やこだわり
- 感覚特性

を手助けヒントとして「仕込む」→徐々に減らすイメージで作成

できている行動を活用する

- 「物の名前の理解」が（通常の指導手順では）なかなか獲得できない...

→その子が注目しやすい刺激からの立ち上げ（動画カード）



パワワパワワワーッパワワ



ちょうだい



スモールステップ教材の作成ポイント

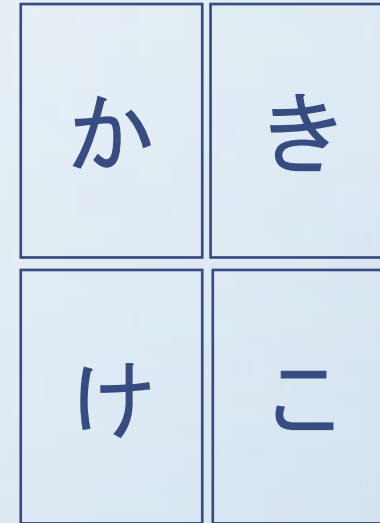
- 「大きい」「小さい」の理解がなかなかできない...
→ 具体物から抽象的な概念へ

- ① 掛け声「大きい？」→子「ゾウ」／「小さい？」→子「アリ」
- ② 「大きい」→子（ゾウを選ぶ）・「小さい」→子（アリを選ぶ）
- ③ 徐々に教材を抽象化





アカデミックスキル～平仮名読み～



かめのか！
ちょうだい

かめのか！
ちょうだい

か！
ちょうだい



数字かるた（イラストのフェーディング）





教材作成ワーク



- ・ 赤、黄色、緑の色カードの受容訓練をしても、2カ月以上正答率が安定しない
- ・ 課題を嫌がるようになってしまった
- ・ 名詞を聞いて選ぶ行動は習得済み
- ・ 食べ物が好きで、色々と知っている



教材作成ワーク



- ・数の概念（3個まで）を理解してほしい
- ・数字は分らないが、「いち」など
いうと指を作ることはできる 1-3



教材作成ワーク



- ・ 2つの物を命名する課題「○と○」
- ・ 絵カードの命名は得意
- ・ 音声で手本を示しても、模倣が出にくく、「○、○」になる
- ・ 視覚的な刺激の理解や反応は得意

まとめ

スモールステップ&エラーレスの考え方は・・・

日常場面で
生活スキル
を教える

問題行動に
置き換わる
適切な行動
を教える

認知・コ
ミュニケー
ションスキ
ルを教える



こんなと
きに有効
です！

メリット

- ✓子どもに「どのようなことが出来るようになって欲しいのか?」、そのために「何を教える必要があるのか?」を、指導者が整理して把握することができる。
- ✓子どもがつまづいているポイントが明確になり、効率的な指導ができる。
- ✓子どもが小さな達成感を積み重ねたり、大人が褒める機会をたくさん設定できる。

本日の達成目標を確認！

①ABAの考え方「3つの箱」を説明できる

- ・ 3つの箱はそれぞれ何が入りますか？
- ・ なぜ褒めることが大切なのですか？

②エラーレスやスモールステップのメリットを説明できる

- ・ メリットは何ですか？

③スモールステップを組み立てられる

- ・ 「じゃんけん」を5つのスモールステップに分解してみましょう